《学校法人旭学園》のつくる「新大学」の構想実現にむけて、各分野のエキスパートから 構想実現アドバイザーを任命し、これからの社会に必要な大学を構想中！

現代韓国学部(仮)

*小倉紀蔵

京都大学大学院人間・環境学研究科教授／専門は東アジア哲学。NHKテレビ・ラジオハン
グル講座の講師を7年間つとめた。『創造する東アジア』など著書多数。

*小針 進

静岡県立大学国際関係学部教授／国際観光振興会(現日本政府観光局)職員、外務省専門
調査員などを歴任。現代韓国朝鮮学会元会長。近著に『崔書勉と日韓の政官財学人
脈』など。

*増淵敏之

法政大学大学院政策創造研究科教授／コンテンツツーリズム学会会長、文化経済学会
〈日本〉特別理事／放送番組、音楽コンテンツの制作および新人発掘などに従事。

*浅羽祐樹

同志社大学グローバル地域文化学部教授／専門は韓国政治・日韓関係。著書に『知りた
くなる韓国』、『戦後日韓関係史』などがある。

*成川 彩

韓国・東国大学日本学研究所研究員／韓国在住映画ライター／2008～2017年、朝日新聞
記者として文化を中心に取材。KBS WORLD Radioレギュラー出演中。

*文 京洙

立命館アジア・日本研究機構 アジア・日本研究所上席研究員／立命館大学名誉教授／
『文在寅時代の韓国「弔い」の民主主義』などの著作がある。

*前原志保

九州大学大学院人間環境学研究院 特任助教／台湾を中心にナショナル・アイデンティテ
ィ、ジェンダーをめぐるポリティクスを研究。

*朴 一

大阪市立大学名誉教授／在日コリアンや日韓・日朝関係に関する多数の著書がある。ラ
ジオ番組を中心に、テレビ番組(「そこまで言って委員会」など)にも多数出演。

*黄 仙恵

城西国際大学大学院 ビジネスデザイン研究科准教授／韓国放送公社(KBS)で情報番組を
制作。韓国コンテンツ振興院日本ビジネスセンターのセンター長も務める。

*朴 裕河

韓国・世宗大学校名誉教授／専門は日本文学。『帝国の慰安婦』で、第27回アジア・太
平洋賞特別賞、第15回石橋湛山記念早稲田ジャーナリズム大賞を受賞。

次世代教育学部(仮)

*義本博司

元文部科学事務次官(2021-2022年)／厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課長も務め、幼児
教育にも造詣が深く高等教育局長等を歴任し、総合教育政策局長として教員政策に関わる。

*若木常住

福岡教育大学大学院教育学研究科教授／専門は、教師教育における省察力(リフレクシ
ョン力)の育成、国語科教育法、オルタナティブ教育など。学習の個別化、個性化を追究した
『大村はまの「学習の手びき」についての研究』がある。

*岩瀬直樹

軽井沢風越学園校長／埼玉県の公立小学校教諭として22年間勤め、学習者中心の授業学級・
学校づくりに取り組む。2015年、東京学芸大学大学院教育学研究科 教育実践創成講座 准教
授として就任。2022年5月軽井沢風越ラーニングセンターを開所し、スクールベースの教師
教育に挑戦している。『インクルーシブ教育を通常学級で実践するってどういうこと?』7
度の著作がある。

*豊福晋平

国際大学GLOCOM主幹研究員、准教授／専門は教育心理学・教育工学・学校経営。ICT脱教
具論の立場で、早くからデジタルシティズンシップの研究と実践に取り組む。総務省「青少
年のインターネット・リテラシー指標改善に関する調査研究及び実態調査検討委員会」委員
なども務める。

*武田信子

一般社団法人ジェイス代表理事／元武蔵大学人文学部教授／臨床心理学、ソーシャルワー
ク、教師教育学をベースに、すべての子どもがウェルビーイングに暮らせる社会を目指して
活動。『やりすぎ教育』、『教師の育て方』などの著作多数。

*中原健聡

認定NPO法人Teach For Japan代表理事・CEO／サッカー選手(スペインリーグ)、大学職員を
経て、TFJのフェローシップ・プログラムを通じて小学校教師になる。その後、札幌新陽高
校に校長の右腕として参画し、探究コースを創設。経済産業省産業構造審議会臨時委員な
どを務める。

*木村健太

広尾学園中学校・高校 医進・サイエンスコース統括長、教諭／2011年度に新設された医進・サ
イエンスコースの責任者として、立ち上げから運営までをマネジメント。日本の各大学、生
命科学系企業やIT企業との新たな企画や連携を構築し、キャリア教育、進路指導部、ICT・
システム、留学などに携わる。

★後藤健夫 (ディレクター)

教育ジャーナリスト&アクティビスト／大学卒業後、学校法人河合塾に就職。独立後は、
大学コンサルタントとして、有名大学などのAO入試の開発、入試分析・設計、情報センタ
ー設立等に関与。経済産業省「未来の教室」とEdTech研究会専門委員も務めた。